

補助事業番号 20-140

補助事業名 平成20年度RT（ロボットテクノロジー）産業創生マッチング
支援補助事業

補助事業者名 社団法人 日本ロボット工業会

1. 補助事業の概要

（1）事業の目的

製造分野のみならず燃料電池、情報家電、健康・福祉及び生活といった新規分野においてRT産業創生の可能性が期待されているなか、現在進行中の国の次世代ロボットについての研究開発成果と共に、学界が有する技術シーズを公開し、次世代ロボットの市場創生の加速化を図り、もって機械工業の振興に寄与する。

（2）具体的な実施・成果

1) 実施内容

- ①委員会を開催し、事業大綱方針とともに、出展募集案内（案）について検討を行った。
- ②委員会決定に基づき、RT（ロボットテクノロジー）事業創出支援事業（RT交流プラザ）のための出品案内を作成し、大学、公設研究機関に対して広く配布・募集を行った。また、今回は出展規模が大きくなったため案内先は、全国とすることとした。
- ③出展機関を確定するとともに、実演可能な出展物については、実演するコーナーを設けることとした。

2) 成 果

今回のRT産業創生マッチング支援事業(RT交流プラザ)には、28の自治体、大学、公設研究機関等から出展があり、ほぼ予定通りの小間スペースを確保することが出来た。

来場者については、約11,000名と当初予定の18,000名に対し、下回ることとなったが、これも急激な経済環境の悪化によって、企業においては出張等禁止や制限などが出始まっていた時期での開催にもあたり、特に午前中などの時間帯には来場者の入りが少ない日もあったが、午後を過ぎると比較的ブース内や実演コーナーに来場者が詰めかけ、熱心に見聞き入っていた。

また、世界的に著名なカーネギーメロン大学が大阪にリエゾンオフィスの構想をもっており、今回の交流プラザには海外の研究機関として初めての出展があるなど、国際的なプラザとなった。

2. 機械工業において予想される事業実施効果

交流プラザにおいて出展機関の技術シーズを公開したことで、今後、産学の技術開

発の連携や技術移転、共同開発などが期待される。

3. 本事業により作成した印刷物（コンピュータ・ソフトを含む）

・展示会ガイドマップ GUIDE MAP 6,000 部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：社団法人^{しゃだんほうじん} 日本^{にほん}ロボット工業会^{こうぎょうかい}

住 所：〒105-0011

東京都港区芝公園三丁目5番8号

代表者：会長^{としまこうじ} 利島康司

担当部署：総務部

担当者名：矢内重章^{やないしげあき}

電話番号：03-3434-2919

FAX : 03-3578-1404

E-mail : yanai@jara.jp

URL : <http://www.jara.jp/>